



uniteup.info
©Project UniteUp!
NOT FOR SALE

合同ライブ「sMiLea LIVE -Fly into the Uni:Birth-」
開催決定



INTERVIEW

現在・過去・未来、 すべてが融合して ホンモノ LEGITになっていく

伝説のアイドル・Anelaが設立した芸能事務所sMiLeaプロダクション。所属するLEGIT・JAXX/JAXX・PROTOSTARによるリースバトル企画が決定した。

今回は、圧倒的なパフォーマンスを誇る実力派アイドル「LEGIT」の高尾大毅さん、二条瑛士郎さん、東郷楓雅さんに、新曲とリリースバトルにかける思いを伺った。



高尾大毅

Takao Daiki

“LEGIT”的センター。幼少期からダンスを学び、多くの受賞歴を持つ。デビュー前はAnelaのバックダンサーを務めていた。

——リリースバトルについて、最初に企画を聞かれた時はどう思われましたか？

高尾 いきなりだなと思いました。

東郷 公式発表と同じタイミングで聞いたんですけど、いつものことだけど、凛さんはサブライズ好きなので(苦笑)しかも俺たちがトップバッターに決まっちゃったしね？

二条 大毅のわけのわからないクジ運の強さでな……。

高尾 わけわからんって何だよ。

東郷 だから仮のアイデアで先を想定しようとして、LEGITとしてはどのように考えられましたか？

二条 抽象的なテーマを提示されて、当初は掴みどころがないと感じていました。仕事の合間に縫つて様々なモチーフのアイデアを出したも

の、話し合いが平行線となつて難航しましたね。どれも決め手に欠けていて。

高尾 どれも生温くてビンとくるモンがなかつたからな。

二条 だから仮のアイデアで先を想定しようとすると、モチーフが決まるまで先に進むべきじゃないとお前が譲らないから話が停滞したんだろう。

高尾 当たり前だろ。ちゃんと決めないとね

いままじやねーか。

東郷 どちらも間違つてはないと思うよ。俺達にも未知のことでのセオリーなんてわからなかつたし。

高尾 でも珍しく楓雅が提案ってきて、それがなんかしつくり來た。

東郷 提案のつもりはなかつたんだけどね。大毅と瑛士郎を見ていたら自然と出てきたというか。

二条瑛士郎

Nijo Eishiro

デビュー前はAnelaのバックダンサーを務め、精力的に芸能活動をしながらも名門学校に通う。将来の夢は総理大臣。



楽曲情報

LEGIT
「What I Say」



好評配信中

LEGIT
「DOPE」



好評配信中

東郷楓雅

Togo Fuga

モデルとして、芸能活動をスタート。ソロでの音楽活動やAnelaのバックダンサーを経て、LEGITとしてデビュー。

楓雅

大毅と奏太。2人でバスクするらしいから気になつて。

瑛士郎

潤だな。最近また面白い本を教えてもらつたので感想を伝えたい。

大毅

樂翔の実家の猫。樂翔じゃねえ。写真じゃなくて本物が見たい。

LEGITメンバーの今「気になる人」は誰？

コラム
氣になる人



二条 それだけ楓雅が俺たちを見ていたということだな。それに今回のリリースバトルを通じて、俺たちの原点に立ち戻れたのは大きい。

高尾 そうだな。

——LEGITの原点に繋がるライブにもなつたということでしょうか？

高尾 過去も未来も今も全部ひつくるめてLEGITだってことを証明できたと思ってます。

二条 たまには良い事を言うじゃないか。

高尾 たまには余計なんだよ。

東郷 互いに理解しあい、全力で高め合える良い時間になつたと思います。

二条 ああ。LEGITとしてまた新しい表現にたどり着いた。

二条 モチーフに沿って、歌詞にはそれぞれの過去の要素も入っています。

二条 まだ着いてない。

東郷 俺たちは全然違う生き方をしてきたんですけど、だからこそ同じ熱量で真っ向からぶつかる。これはモチーフについて話し合う中で生まれたことだったから、結構大きい変化にはなつたな。

二条 ああ。LEGITとしてまた新しい表現にたどり着いた。

二条 モチーフに沿って、歌詞にはそれぞれの過去の要素も入っています。

高尾 僕らのファンならわかるかもな。つっても、馴染んでるから気がついたら上げえ。

東郷 大毅が褒めてくれるらしいから頑張つて見つけてね♡

高尾 言つてねえ！

——それでは最後に読者のみなさまへのコメントをお願いします！

高尾 僕たちがリリースバトルで優勝して、さらに上を目指す。

二条 自信作である楽曲も、何度も聞いてもらえると嬉しい。大毅の言う通り、この曲と支持者と共に、更なる高みを目指していくことを誓おう。

東郷 そうですね。俺たちLEGIT三人で、ちゃんと目指していくこうか！

——リリースバトルについて、最初に企画を聞かれた時はどう思われましたか？

高尾 いきなりだなと思いました。

東郷 公式発表と同じタイミングで聞いたんですけど、いつものことだけど、凛さんはサブライズ好きなので(苦笑)しかも俺たちがトップバッターに決まっちゃったしね？

二条 大毅のわけのわからないクジ運の強さでな……。

高尾 わけわからんって何だよ。

東郷 だから仮のアイデアで先を想定しようとして、LEGITとしてはどのように考えられましたか？

二条 抽象的なテーマを提示されて、当初は掴みどころがないと感じていました。仕事の合間に縫つて様々なモチーフのアイデアを出したも

の、話し合いが平行線となつて難航しましたね。どれも決め手に欠けていて。

高尾 どれも生温くてビンとくるモンがなかつたからな。

二条 だから仮のアイデアで先を想定しようとすると、モチーフが決まるまで先に進むべきじゃないとお前が譲らないから話が停滞したんだろう。

高尾 当たり前だろ。ちゃんと決めないとね

いままじやねーか。

東郷 どちらも間違つてはないと思うよ。俺達にも未知のことでのセオリーなんてわからなかつたし。

高尾 でも珍しく楓雅が提案ってきて、それがなんかしつくり來た。

東郷 提案のつもりはなかつたんだけどね。大毅と瑛士郎を見ていたら自然と出てきたというか。